

山火事防止パレード

山火事防止を呼びかけ

4月21日、田村市山火事防止パレードが市内全域で行われました。出発式が市総合体育館で行われ、市長が「春先は特に火を取り扱う機会が増えるため、多くの市民に予防消防の啓発活動をお願いする。」とあいさつしました。式終了後、田村消防署や市消防団など関係機関からの参加者30人が、車両20台に分乗し、滝根・大越町方面（第1班）、常葉・都路町方面（第2班）、船引方面（第3班）に分かれて、広報車を先頭に山火事注意を呼びかけました。



J A福島さくらが 市内小学校に教材を寄贈



5月2日、J A福島さくら たむら地区の根本俊男本部長が市役所を訪れ、J A福島さくらが製作した冊子「農業とわたしたちの暮らし」を市教育委員会に寄贈していただきました。

この冊子は、小学校高学年を対象に、人々の暮らしと農業のかかわりについて学ぶことができる補助教材です。

市教育委員会では、この教材を市内の全小学校に配布し、子どもたちの学習に有効に活用させていただきます。

自衛官募集相談員委嘱状交付式

自衛隊入隊希望者をサポート



4月13日、自衛官募集相談員の委嘱状交付式が市役所で行われ、6人の相談員が委嘱されました。相談員は、自衛官募集の協力活動として、自衛隊の広報官とともに入隊希望者に説明や勧誘などを行います。任期は29年度から30年度までの2年間です。

- 委嘱された相談員（敬称略、（ ）内は住所地）
鈴木正廣（船引町）、渡辺貞一（大越町）、
橋本利重（都路町）、浦山正一（常葉町）、
鹿股正博（船引町）、國分良二（船引町）

都路 春のウォーキング教室

のどかな春の景色を満喫

4月23日、都路公民館主催の「春のウォーキング教室」が、喜多方市の日中線記念自転車歩行者道で行われ、14人が参加しました。

とても良い天気の中、3キロメートル続いた桜並木を散策すると、のどかな景色に参加者の心も癒されました。

昼食に喜多方ラーメンを食べた後、猪苗代町にある土津神社にも立ち寄り、会津の春を満喫しました。



ブックスタート 赤ちゃんに絵本をプレゼント

4月20日、船引保健センターで行われた10か月児健診に合わせて、「ブックスタート」が始まりました。

ブックスタートとは、赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひとときを持ってもらおうという、子育て支援の取り組みです。市では、今年度から4か月児・10か月児健診の終了後、すべての赤ちゃんに絵本をプレゼントします。

この日は、5人のブックスタートサポーターが、19組の親子に絵本を手渡し、読み聞かせのアドバイスをしました。



鯉のぼり掲揚式 青空で元気に泳ぐ鯉のぼり

4月28日、さわやかな晴天に恵まれた中、滝根保育所で鯉のぼり掲揚式が行われました。式では、本田市長があいさつした後、代表の3歳児ばんだ組の佐藤柚花さんと高橋陽登さんに記念品がプレゼントされました。



保護者が見守る中、全園児で童謡「こいのぼり」を歌いながら、市長と3歳児35人がロープを引き上げると、大きなこいのぼり12匹と吹き流しが、春風を受けて大空に泳ぎました。子どもたちからは歓声上がり、園庭に元気な声を響かせました。

保護者と一緒の記念撮影では、鯉のぼりをバックに、子どもたちの笑顔があふれていました。

ふねひき 春のうたまつり 春爛漫、設立45周年を祝う

4月29日、市文化センターで、船引町民謡民舞の会連絡協議会主催の設立45周年「ふねひき春のうたまつり」が開催されました。記念式典では、本田市長、大和田市議会議長ほかから祝辞をいただき、同協議会の吉田忠男会長から功労者4名に感謝状が贈られました。

唄の「さんさ時雨」、舞踊や民謡、三味線など出演者が各種芸能を披露し、来場者は伝統芸能を観賞しました。最後の「ふねひき盆おどり」では、会場内に踊りの輪が広がり、記念の日に華を添えました。

- 感謝状受賞者（敬称略）
佃光堂（民謡研究光堂会会主）
花柳寿美船（みどり会会主）
松栄徳寿（新日本舞踊松栄流家元）
本田絹子（船引ふる里民謡会顧問）

